

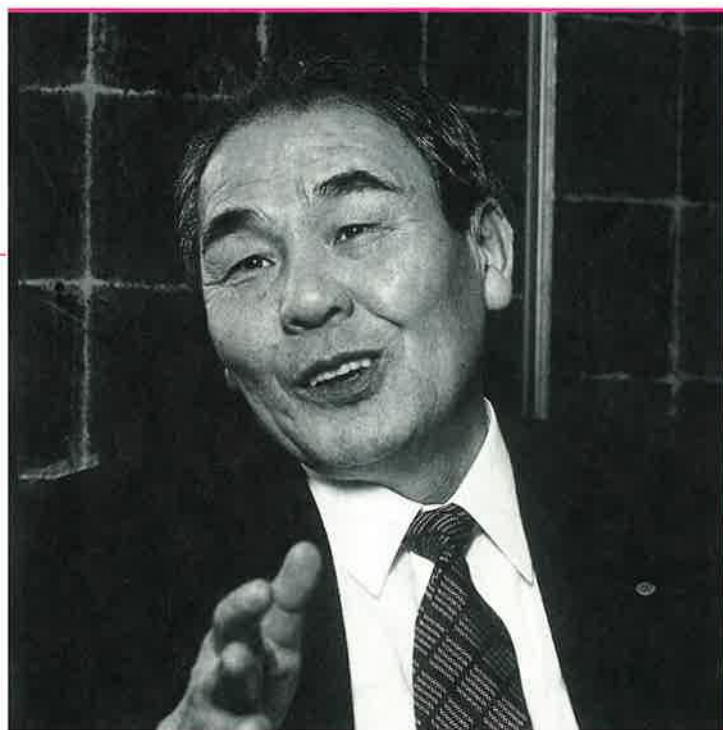
CO・OP

京都の生協

2005/FEBRUARY/No. 55
京都府生活協同組合連合会

漁業者と消費者が力を合わせ、
ゆたかで、きれいな海を後世に――

おいしくて、品質たしかな
魚を食卓に届けたい！



Talk Talk トークとーく

●京都府漁業協同組合連合会 代表理事会長

佐々木 新一郎さん

●京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子



対談

TalkTalk

トークとーく

おいしくて、品質たしかな魚を食卓に届けたい！
漁業者と消費者が力を合わせ、ゆたかで、きれいな海を後世に――

京都府漁業協同組合連合会 代表理事長会長

佐々木 新一郎さん

京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子

がん予防や健康チェックでは、かならず「肉よりも魚や野菜をたくさん食べましょう」というフレーズが登場するけれど、魚たちがくらす海のなかはどんな状態なのか、どんな魚がいるのか、魚はどのようにおこなわれているのかなどについて、私たち消費者が知る機会は少ない。一方、漁業にたずさわる人びとは、「おいしい魚をもっと食べて

もらおう」と、水産資源の保護や鮮度保持の研究に懸命に取り組んでいるが、漁獲量の減少など心配事も多い。今回は、昨年六月、京都府漁連の会長に選任され、「背広は窮屈で慣れない」といいながら漁業の振興をめざして東奔西走する佐々木新一郎さんに、海の環境変化や台風被害、女性の活躍などについてお話をうかがった。

漁師にとって「台風より怖い冬のシケ」、でも去年は…。

小林 新年あけましておめでとつございます。

動も再開できて、ホツとしています。

じめて発動されました。行政やボランティアセンターの要請にもとづいて、土砂を掘り出すス

佐々木 おめでとつございます。本年もよろしくお願ひします。

船や漁網の修理・買い換え以外に、復旧作業で休業しているあいだの運転資金も必要でしたが、漁連独自の対応とともに、行政にも配慮していただきました。たいへんありがたいと思っています。

ただくためのカイロなど、さまざまな物資を提供したのですが、同時に救済募金活動にも取り組

小林 こちらこそ、よろしくお願ひします。ところで、昨年は台風の被害が大きくなってたいへんでしたね。もう平常に戻られましたか？

小林 阪神淡路大震災のあと、京都府生協連は行政とのあいだで、災害時の応急物資供給協定を結びました。昨年一〇月の台風被害では、この協定がは

みなさんのご苦勞を目にして、突然やって来る災害には不断の心構えと対策が必要だと痛感しました。

佐々木 漁船が沈没したり、漁網が破れたり、漁協の施設が浸水したり、大きな被害をうけましたが、おかげさまで生産活

の台風被害では、この協定がは

佐々木 みなさんのご支援に

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談

おいしくて、品質たしかな魚を食卓に届けたい！
漁業者と消費者が力を合わせ、ゆたかで、きれいな海を後世に――2
台風23号被災地支援活動7
2005年 新春交歓会開催8
「2004・京都・たべるたいせつフォーラム」10
「きょうと食の安心・安全アクションプラン」発表11
会員生協 NOW 生活協同組合エル・コープ12

TOPICS 14

- 「第4回 京都府協同組合職員体験・交流学校」
- 「京都の生協活動への功勞者表彰式」
- 「丹後あじわいの郷から～地産地消とスローフードのタベ」
- 「南丹 食の安心・安全セミナー」
- 「食の安心・安全セミナー in きょうと」
- 大学生協京滋・奈良地域センター「2005年度総会」
- 京都生協「平和学習会」

- J A 京都府女性協と京都府生協連役員・組合員との懇談会
- 「第6回 京都消費者フォーラム」
- 「京都環境フェスティバル2004」
- 内閣府「BSE対策に関する意見交換会」
- 日本生協連「消費者団体訴訟制度学習会」
- 常任理事、副会長理事を選任しました
- 特定非営利法人(NPO)「京の農産物あんしんネットワーク」会員を募集しています16

はほんとうに感謝しています。ありがとうございます。

今回の台風は漁業者の予想をはるかにこえるものでありました。ご存じのとおり、冬の日本海のシケは強い風が何日間もつ

づき、漁業者は十分な対応をとるのですが、台風は短時間で通り過ぎるため、油断してしまつた部分があつたのかもしれない。私も不断の備えの大切さを肝に銘じました。

消費者の視点を教えてくれた 鮮魚産直「かもめBOX」

小林 ところで、京都生協と京都府漁連の鮮魚産直「かもめBOX」の取り組みがはじまつて二〇年たちました。

佐々木 もう、そんなになりますか。早いものですね。

小林 ほんとうに！

この取り組みのなかでは、新鮮な魚を届けていただくだけでなく、包丁教室をおして魚のさばき方も教えていただきました。それまで、京都市内では魚を一尾の状態からさばいて食べる習慣はあまりなくて、かなりベテランの主婦でも魚をおろせる人は少なかつたんです。私もそのひとりでしたが、包丁教室で教わつたおかげで、お刺身がつくれるようになりました(笑)。

佐々木 包丁教室は漁協婦人

部と生協組合員の交流活動の一環として取り組まれましたが、われわれ漁業にたずさわる者にとつても、「魚をさばく」ということを知つていただくのは非常にうれしいことでした。もちろん魚食の普及につながるのもうれしいことです。

私たちが「かもめBOX」に取組んでもつともありがたかつたのは、消費者の目線で考える大切さを教えていただいたことです。それまでは「どんな魚でも、とにかく市場に出せばなんとかなる」という姿勢で、魚の消費量が多かつた時代の発想から抜け出せなかつたのですが、生協との交流のなかで「食べ物豊富ないまは、消費者の視点で考えないと魚を食べてもらえ



ないのだ」ということを学ばせていただきました。

小林 でも、生協組合員は「同じ魚ばかりつづくのはイヤ」とか「小さな魚ばかり入るのはイヤ」とか、わがままばかりいって、さぞ「消費者はわかつていないなあ」と思われたでしょうね(笑)。

佐々木 そういう思いはお互いにあつたでしょうが、交流を積み重ねることで理解してきたことが多いのではないのでしょうか。

小林 そうですね。私たちが組合員は、新鮮なお魚を食べた



京都府漁業協同組合連合会 代表理事会長

佐々木 新一郎さん



京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子



り魚をさばく技術を身につけられただけではなく、「ああ魚にも匂があるんだ！これがこの季節の魚なんだ！」と実感できるようになりました。これも「かもめBOX」のおかげだろうと思います。

佐々木 季節ごとの、京都の海から揚がるおいしい魚を召し

上がっていただけのこと、生産者にとつていちばんありがたいですね。

小林 最近健康ブームで、魚食のよさが見直され、生協でもイキのいい魚が出せる店舗は組合員から高い支持をうけています。

大学生協でも、「ぜひ生の魚の

おいしさを若い学生たちに知ってほしい」と、丸のままの魚を調理して、食堂のメニューとして出しているところがあるんですよ。

佐々木 それはうれしいですね。これからも消費者のみなさんに新鮮でおいしい魚をお届けできるよう、気張っていきます。

魚の「ブランド化」は、 おいしさ・品質の保証

小林 佐々木さんは現役時代、丹後半島の間人たいごでカニ漁をなさっていたそうですね。

佐々木 はい、二七歳から船に乗っていました。

小林 いまや「間人のカニ」は、テレビ番組で紹介されたり、インターネット上の市場に売り出されたりして、すっかり有名ブランドになりましたね。

佐々木 京都の沖合は、海底の土壌やエサなど、カニの生息条件がそろっているのだと思

ますが、全国でも有数のカニの好漁場だといわれています。間

人はこの漁場まで近いという好条件に恵まれていて、高鮮度な

状態で消費者のみなさんにお届けすることが出来ます。もちろ

ん、鮮度を保つために、いろいろな努力をおこない、また、衛生管理にもつとめています。こ

のように漁業者が自信をもって消費者のみなさんにお届けする

ズワイガニには、緑色のタグが取り付けてあり、漁獲した船名

も記録されています。このこと

によって、漁業者にも責任がともなうようになりました。私は、

そのことが結果的にとてもよかったですと思っています。これまで

は「市場に出せば終わり」で、消費者の手にわたる段階までの意識がなかった。でも、これか

らはそこまできちんと責任をもつて、たしかなものをお届けしないといけない。その意味では

ズワイガニだけでなく他の魚種でも京都産ブランドをめざして、水産物のレベルアップをしないとけないと思っています。





海の自然環境を守り、ゆたかで きれいな海を後世に伝えたい

小林 最近「かもめBOX」のなかでイワシの姿を見かけなくなりましたが、どうしてなのでしょううか？

佐々木 漁獲量で申しますと、一〇年前にくらべて、イワシ類は約二割に、サバは一割以下に落ち込んでいます。イワシやサバの代わりにふえた魚があるわけでもないのです、たんなる魚種交代というよりも、漁獲量そのものが減っていますね。

小林 以前は「大衆魚」だったイワシやサバも、これからは「高級魚」になって、お祭りのごちそうの定番の鯖寿司も、庶民には手が届かなくなるかもしれないですね。

佐々木 若狭のサバは、運ぶ道筋が「鯖街道」とよばれるぐらい、京都でたくさん消費されてきましたからね。

小林 それが、いまはほとんどノルウエー産なんです(笑)。

でも、ノルウエー産のサバは脂っぽくて、鯖寿司には使いにくい。やっぱり鯖寿司は近海のサバでないとい...

佐々木 サバもさることながら、とりわけイワシは日本海のお物連鎖のカギを握る魚で、イワシがいてくれたから、イワシをえさにする回遊魚が近海に来ていたんです。

小林 地球温暖化の影響で、海水温も上昇しているのですが、それが関係しているの

でしょうか。

佐々木 その影響はあるでしょうね。海水温がたった一度変わるだけで、魚の回遊コースも変わりますし、とくに最近では海中でも四季の移りかわりが変化してきています。昔は、冬にたくさん雪が降って、それが海に流れ込んで海水温を下げ、海を冷やしてくれた。そうすると磯に魚が寄ってきたんです。でも最近では、冬でも雪があまり降らなくなると、海のなかの四季の循環が弱まった。そういう変化は、定置網や磯で漁をいとなむ者にとって大きな打撃になります。

海の自然環境や水産資源については、目でみえないがゆえ未解明の部分がたくさんある。そこが漁業者にとってつらいところですね。たとえば、マイワシが激減した原因もたんなる魚種交代なのかどうかわからない。ですから、私たちはもっと海の研究がすすむことを願っています。



す。漁業者としても禁漁期間や

禁漁区を設けたり、稚魚を育て

て放流したりして、「獲る漁業」

から「作り育てる漁業」にしよ

うと取り組んでいます。

小林 伊根の太鼓山に植樹

する「浦島エコーの森づくり」

という取り組みもなさっています

すね。

佐々木

陸の環境が荒れる
と、海が汚れて、魚が棲めなく

なるんです。とりわけ磯にくら

す魚や海藻類へのダメージが大

きいので、陸の環境問題は他人

事ではありません。ゆたかで、

きれいな海を後世に残すことは

漁業を担うパワフルな女性たち

小林 先ほど港に行くと、

箱詰め作業の真っ最中で、女性

もたくさん働いておられました

し、インターネット上のショッ

プの「問人のカニ」のページに

は漁協のパワフルな女性が登場

しています。女性は、船には乗

らなくても、漁業の担い手とし

て大きな役割をはたしていらっ

しゃるんですね。

佐々木 わが家でも、船が港

に帰ったあとは、選別・出荷作

業などすべて女房が仕切ってい

ます（笑）。

われわれ漁業者にとって魚は

商品であって、いかに仲買人に

高い単価をつけてもらうかが大

事ですが、商品の並べ方ひとつ

にしても、女性は自分が買う立

場になって考えるんですね。昔

は「市場に出せば、なんとかな

る」という姿勢ですんでいまし

たが、いまは仲買人のなかにひ

とりでも多くのファンをつくる

ことが大事なので、その意味で

も、女性のはたす役割が大き

なっています。

小林 なるほど、女性が漁

業をうしろからしっかりささえ

ておられることがよくわかりま

した。ぜひ女性を大事になさっ

てください。

佐々木 大事にしています

よ、なにしろ「山の神」です

ら。

小林 そのお言葉をうかが

って、安心しました（笑）。

佐々木さんは「これからは消

われわれの責務ですから、でき
るだけの努力をしなければなら
ないと思っています。



費者から選ばれる漁業をやりたい」とおっしゃいましたが、私
たちは消費者も、ただ買うだけ
はなく、漁業の現実をちゃんと
学んで、環境問題もふくめてで
きるだけのことをして、漁業を
ささえていかなければいけないと
思っています。

佐々木 産直がはじまって二

〇年、長いあいだのお付き合い、

どうもありがとうございます。

こんごも、改善すべき点がござ

いましたら率直なご意見をおよ

せください。よろしく願ひし

ます。

小林 こちらこそ！ どう

か、これからもおいしくて新鮮

なお魚を届けてください。



会員・近隣生協・関係団体とともに

台風23号被災地支援活動



台風23号により被害をうけた京都府北部地域



被災地支援ボランティアに参加する生協役員

2004年10月に日本列島を襲った台風23号は、全国各地に大きな被害をもたらしました。京都府では北部地域において甚大な被害となりました。

京都府生協連では、京都府災害対策本部、京都府災害ボランティアセンターの設置をうけ、災害対策委員会を緊急開催し、対応方針・態勢を確立。応急物資の調達、ボランティア活動の推進などにとりくみました。

応急物資は、京都府との「災害時における応急物資供給等に関する協定」にもとづいて、京都生協で商品調達をおこない、被災地へ送りました。

また、被災地の支援ボランティア要請にこたえ、会員生協および、福井・奈良・滋賀・和歌山・大阪・他の生協関係から、90人をこえる参加がありました。募金活動も旺盛にとりくまれ、京都生協では、京都府に528万円、京都府社会福祉協議会に200万円の募金を贈呈。京都医療生協は、兵庫県たじま医療生協へ10万円、新潟県長岡医療

生協へ5万円の募金を贈呈し、やましろ健康医療生協もたじま医療生協に水害支援金51万円を贈りました。

また、大阪いずみ市民生協から100万円、生協連合会コープきんぎ事業連合会からも募金をいただき、当連合会より京都府へお届けしました。



11月30日、京都生協 小林智子理事長（京都府生協連会長理事）が京都府・竹内賢樹出納長（左）と京都府社会福祉協議会・大槻明司常務理事（右）に募金を手渡しました。

2005年 新春交歓会開催



新春のあいさつをのべる小林智子会長理事



京都大学邦楽サークル「叡風会」のみなさんによる祝賀の演奏

1月8日(土)、平安会館にて「2005年新春交歓会」を開催し、行政や地元選出国会議員、協同組合、関係諸団体などから、130名のご参加をいただきました。

京都大学邦楽サークル「叡風会」のメンバーによる祝賀の演奏でオープニングし、小林智子会長理事があいさつをのべました。



J A 京都中央会
小瀧 茂専務理事



農林水産省近畿農政局
永江啓一次長



京都府商工部
辻本泰弘部長

京都府商工部 辻本泰弘部長、
農林水産省近畿農政局 永江啓
一次長、J A 京都中央会 小瀧
茂専務理事より、来賓のごあい
さつをいただきました。

メッセージを
お寄せいただいた方
公明党・衆議院議員
池坊 保子さん
民主党・衆議院議員
玉置 一弥さん



平信行副会長理事
(京都大学生協専務理事)

閉会にあたり、平信行副会長
理事より、ご参加いただいたみ
なさまへお礼を申し上げます
た。



京都商工会議所 中小企業経営相談センター
湯浅正所長

つづいて京都商工会議所中小
企業経営相談センター 湯浅正
所長のご発声で乾杯し、なごや
かな懇談となりました。



民主党・衆議院議員
玉置一弥秘書
秋下好正さん



民主党・衆議院議員
泉ケンタさん



民主党・衆議院議員
山井和則さん



民主党・衆議院議員
前原誠司さん



日本共産党・参議院議員
井上哲士さん



日本共産党・衆議院議員
穀田恵二さん



民主党・参議院議員
松井孝治さん



民主党・参議院議員
福山哲郎さん

【ご参加いただいた国会議員・秘書のみなさん】

「2004・京都・たべるたいせつフォーラム」

～「食育」をテーマとした講演会・試食会に200人が参加～



第1部・講演とフロアディスカッション（写真上）

第2部・京野菜を使った「おぼんざい」メニューの紹介と試食（写真左）

第1部のテーマは「いまたいせつにしたい『食』とはく食育を考える」。

農林水産省 近畿農政局 山川雅典局長より、「いま、なぜ食育なのか」と題して話題提供をいただき、近畿農政局オリジナル「食育かるた」もご紹介いただきました。



＜来賓あいさつ＞
京都府商工部 辻本泰弘部長

2004年11月10日（水）、平安会館で「2004・京都・たべるたいせつフォーラム（第11回京都府生協大会）」を開催し、200人が参加しました。

小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、京都府商工部 辻本泰弘部長より、来賓のごあいさつと京都府 山田啓二知事のご祝辞のご披露をいただきました。



＜話題提供＞
農林水産省近畿農政局 山川雅典局長



講演Ⅰ「食べる大切さ」
大妻女子大学 八倉巻和子教授

つづいて大妻女子大学 八倉巻和子教授が「食べる大切さ」、（財）生協総合研究所 西村一郎 研究員が「生協における食育のすすめ」をテーマとして、講演をおこないました。

講演後のフロアディスカッションでは、会場から多くの感想や質問が出されました。



講演Ⅱ「生協における食育のすすめ」
（財）生協総合研究所 西村一郎研究員

食の安全性確保をめぐって

～「きょうと食の安心・安全アクションプラン」が発表されました～

2004年12月21日、京都府は「きょうと食の安心・安全アクションプラン」を発表しました。

これに先立って、「中間案」にたいする府民意見が募集され、「中間案」への意見提出数は54件、項目別意見数は108と、多くの意見提出がありました。内容の面でも幅の広いものであったことが特徴となっており、食品安全行政にたいする府民の関心の高さが浮き彫りとなりました。「プラン」は「食品の安全性の確保は、府民共通の願いであることから、府内で生産・流通・消費される食品（農林水産物を含む）についての安心・安全確保の取り組みを、府民の健康の保護が最も重要であるという基本的な認識のもとに、生産者・事業者、消費者、行政が協働して推進します」とのべ、現状と課題、施策の基本方向をあきらかにしたうえで、16の重点施策を打ち出しています。

重点施策のなかには、「きょうと食の安心・安全意見交換会」（仮称）の定期開催や「京都食の

安心・安全推進条例」（仮称）等の検討などが盛り込まれています。

条例の検討については、「募集した府民意見に対する府の考え方」のなかで「食の安心・安全の取り組みは、実効性と持続性のある、腰の据わったものとして進めていく必要がある」とし、「府民の皆様から、食を巡る事件・事案が京都を舞台に発生していることから、率先して条例をつくるべき」等の意見にもとづくものであるとのべています。

「プラン」は府の責任で策定されたものですが、2004年7月より「きょうと食の安心・安全政策検討会」が7回開催され、「きょうと食の安心・安全行動指針中間案」としてまとめられたものがベースとなつています。「きょうと食の安心・安全政策検討会」には、小林会長理事が委員として参加しました。

きょうと食の安心・安全アクションプラン

＜16の重点施策＞

- 1、安心・安全の基盤づくり
 - ～安全で環境に配慮した食品の生産・供給体制の確立～
 - ①安全な食品の生産・製造・加工、流通の確保
 - ②生産者・事業者による自主衛生管理の促進
 - ③人にやさしく環境に配慮した食品生産の促進
 - ④京都府独自の登録制度等の創設
- 2、安心・安全の担保
 - ～生産から消費まで一貫した監視・指導・検査システムの構築～
 - ⑤食品衛生に対する監視・指導の充実・強化
 - ⑥BSE、高病原性鳥インフルエンザなどの予防対策、監視体制の強化・徹底
 - ⑦適正な食品表示の確保
- 3、信頼づくり
 - ～リスクコミュニケーションの促進と府民参画～
 - ⑧リスクコミュニケーション、情報共有化の推進
 - ⑨コンプライアンス（法令等の順守）の推進
 - ⑩「顔の見える関係」づくり
 - ⑪食に関する学習活動の推進
- 4、体制づくり
 - ～「食の安心・安全」の取り組みの総合的な推進体制の確立～
 - ⑫総合的、一体的な府の推進体制
 - ⑬食の安全に対する危機管理の強化
 - ⑭食の安心・安全対策における試験研究機関の取り組みと連携の強化
 - ⑮「京都食の安心・安全推進条例」（仮称）等の検討
 - ⑯年度別行動計画の策定・評価による進行管理

会員生協

NOW

小林智子会長の
～会員生協理事長訪問～



小林智子会長理事

生活協同組合 エル・コープ



2003年7月に完成した南区上久世の配送センター。組合員会議室も併設され、エル・コープの活動を支える力強い拠点です。



生活協同組合 エル・コープ

理事長 中本 式子^{のりこ}さん

小林…こんにちは。今日は生

活協同組合エル・コープの本部におじゃまして、中本式子理事長にお話をうかがいます。まず、エル・コープの概要について教えてください。

中本…ようこそ、いらっしやいました。生活協同組合エル・コープの設立は1993年、ことし2005で12年目をむかえます。グループ購入（共同購入）・個人配達事業が中心ですが、2004年12月からは共済事業もスタートしました。10年目ま

ではなにかと「うちは若い生協なので」といいわけができたのですが、こんごはいいにくくなるなあと困っているところです。（笑）

活動の基本は産直・地域づくり・働く場づくりです。安全・安心・国内産にこだわって、生産者と組合員の交流を大切に、国内自給率を高める取り組みをすすめてきました。

小林…この間の活動で特徴的だったことは？

中本…設立10年目となった2

003年7月に、京都市南区上久世に新配送センターが完成。あらたな活動拠点となりました。

また、同年11月には、2002年度に累積欠損金が解消できたことをうけ、エル・コープではじめて利用割戻しが実現しました。

あわせて組合員数・供給高が前年対比で10%以上伸長するなど、2003年は文字どおり大きな節目の年となりました。

小林…中本さんは2004年6月の総代会で理事長に

京都府生活協同組合連合会

19 会 員 生 協

<地域生協>

京都生活協同組合

生活協同組合エル・コープ

<大学生協>

京都大学生生活協同組合

同志社生活協同組合

立命館生活協同組合

龍谷大学生生活協同組合

京都府立医科大学・府立大学生生活協同組合

京都工芸繊維大学生生活協同組合

京都教育大学生生活協同組合

京都橘女子学園生活協同組合

池坊学園生活協同組合

京都経済短期大学生生活協同組合

大学生協京都事業連合

<職域生協>

京都府庁生活協同組合

<医療生協>

京都医療生活協同組合

乙訓医療生活協同組合

やましる健康医療生活協同組合

<共済生協>

全京都勤労者共済生活協同組合

<住宅生協>

京都労働者住宅生活協同組合

小林…組合員活動では、どの

就任されましたが、理事長に就任されるということには、相当な決意があったと思いますが…。

中本…そうですね。昨年、設立時からの理事長であった石田紀郎さんから交代して、理事長職を担うことになったのですが、設立10年をこえたというところが就任を決意した理由のひとつですね。それから、組合員理事から理事長が誕生することで、こんご多くの組合員がつづいてほしいという思いもありません。

ようなことを大切にしておられますか？

中本…エル・コープには当初から理事として参加してきたのですが、ずっと「組合員が活動の主体」ということを大切にしてきました。口では簡単にいっても実際にはなかなかむずかしいことで、最初の頃はやはり職員におまかせということも多くありました。

しかし、いまでは総代会の議案書作成も、会議運営も組合員が中心です。10年という節目の年をこえ、ようやく私たちが

「主体」であることが実感できる組織になってきたと思います。

小林…こんごはどのようなことをめざしておられますか？

中本…これまで以上に国内産・生産者との交流にこだわりのながら、あわせて、廃棄物・ごみ問題の解決にむけて、この間がんばってきたリユースびんのとりにくみを継続し、地域づくり、働く場づくりにもチャレンジしたいと思っています。

小林…ありがとうございます。

生活協同組合 エル・コープ

代表者／理事長：中本 式子のりこ 常務理事：黒岩 卓美
所在地／京都市南区久世上久世町161番地
事業高／75,500万円（2003年度末）
組合員数／4,476人（ ” ” ）
設立年月日／1993年9月22日

ドイツ語のLeben（命、生活、生きること）のLをとってエル・コープと命名。産直活動、地域づくり運動、働く場づくり運動をめざして、グループ（共同）購入事業・個人配達事業・共済事業をすすめています。1999年からは、大阪の生協との業務提携をおこなっています。

「第4回京都府協同組合職員体験・交流学校」開催

2004年11月5～6日、京都府協同組合連絡協議会（JA・JF・森林組合・生協の四連合会構成）の主催で、「第4回京都府協同組合職員体験・交流学校」が開催されました。今回は京都府美山町・京北町を会場に実施され、美山町森林組合施設の見学や、北桑田郡林業研究グループの指導をうけた「一日林業体験」がおこなわれました。



「京都の生協活動への功労者表彰式」開催

2004年11月10日（水）、

平安会館で「2004年度京都の生協活動への功労者表彰式」を開催しました。



京都府生協連の表彰制度にもとづき毎年おこなわれるもので、会員各生協から推薦された28名の功労者のみなさんに、小林智子会長理事より表彰状と記念品が授与されました。

「丹後あじわいの郷から」地産地消とスローフードの夕べ」開催

2004年11月10日（水）、平安会館で「丹後あじわいの郷から」地産地消とスローフードの夕べ」が開催され、50人が参加しました。



これは第11回京都府生協大会第3部として京都府庁生協が企画したもの。

「丹後あじわいの郷」ソムリエ・安達晴彦さんから、ワインの楽しみ方とあわせ、食文化についてのお話をいただきました。

「南丹食の安心・安全セミナー」開催

2004年11月23日（火）、丹波町中央公民館で京都府南丹広域振興局主催の「南丹食の安心・安全セミナー」が開催され150人が参加、2月に京都府丹波町で発生した「高病原性インフルエンザ」の教訓を生かそうと、

活発な討論をおこないました。京都府生協連 坂本事務局長がパネリストとして出席しました。



「食の安心・安全セミナー in きょうと」開催

2004年11月27日（土）、京都府総合見本市会館（パルスプラザ）で京都府主催の「食の安心・安全セミナー in きょうと」が開催され、京都府生協連 坂本事務局長がパネリストとして出席しました。

京都大学で「2005年度地域センター総会」が開催され、180人が参加しました。

各会員生協の特徴的などりくみを交流し、2004年度の活動の前進点を確認したのち、2005年度活動方針を決定。その後の分科会でさらに交流を深めました。



京都生協が「平和学習会」を開催

2004年12月4日（土）、京都生協コープパティで「平和学習会」が開催され、22人が参加しました。

講師に京都南法律事務所 岩佐英夫弁護士をむかえ、

平和をめぐる憲法問題のポイントについてわかりやすくお話しいただきました。



「JA京都府女性協と京都府生協連役職員・組合員との懇談会」開催

2004年12月9日(木)、

「JA京都府女性協と京都府生協連役職員・組合員との懇談会」が開催され、JAから19名、生協から10名が参加しました。

これは、JAと生協が生産者・消費者というそれぞれの立場で懇談し、たがいに理解を深めあうことを目的に毎年開催されているものです。

7回目となる今回は、伏見区のJA京都羽束師支店

を会場に開催されました。

JA京都府女性協 豊田勝代会長より開会のあいさつがあり、つづいて羽束師ファームの見学、JA京都府女性協から活動報告がありました。

生協の参加者からは多くの質問や意見、感想が出され、活発な交流会となりました。



JA京都府女性協 豊田勝代会長



「第6回 京都消費者フォーラム」メインステージ企画に参加

2004年12月11日(土)

12日(日)、パルスプラザで「第6回 京都消費者フォーラム」が開催されました。



京都府生協連は11日(土)のメインステージで、トークショー「架空請求がやってきた!」を実施し、60人が参加しました。

急増する架空請求の実例を紹介し、京都生協「北区教えあい・伝えあい活動登録員」で、京都府消費生活相談員の田中史子さんより、架空請求対応のポイントについて解説いただきました。

「京都環境フェスティバル2004」に出展

2004年12月11日(土)

12日(日)、パルスプラザで「京都環境フェスティバル2004」が開催され、京都府生協連はブース出展しました。

京都生協の環境サポーターと協力し、京都生協、京大生協、エル・コープの環境活動、環境にやさしい商品の紹介、環境クイズ等を実施しました。



内閣府「BSE対策に関する意見交換会」に参加

2004年12月13日(月)、

京都市勧業館(みやこめっせ)で、内閣府食品安全委員会が主催する「BSE対策に関する意見交換会」が開催されました。

これは、同年9月に食品安全委員会がBSE対策中間とりまとめを提出したことをうけ、消費者の意見を聞く場として設定されたものです。

京都府生協連からは高田艶子理事、坂本事務局長、酒向事務局担当が参加。京都生協からは、組合員理事10名、職員3名が参加し、BSE検査への慎重な対応をもとめて発言しました。



日本生協連「消費者団体訴訟制度学習会」に参加

2004年12月21日(火)、新大阪コロナホテルで消費者団体訴訟制度を考える連絡会議、日本生協連関西地区連主催の「消費者団体訴訟制度・要綱試案学習会」が開催され、京都府生協連からは小峰専務理事、坂本事務局長が参加しました。

消費者被害が続発するなかで、消費者団体訴訟制度の早急な確立をめざし開催されたもので、野々山宏弁護士が「消費者団体訴訟制度の意義、仕組みと期待される役割」と題して講演しました。

常任理事・副会長理事を選任しました

2004年8月10日の理事会で、佐藤京子理事(やましろ健康医療生協理事長)を常任理事に選任しました。

また、2004年12月7日の理事会で、平信行理事(京都大学生協専務理事)を副会長理事に選任しました。

特定非営利法人(NPO)「京の農産物あんしんネットワーク」

会員を募集しています

～2005年3月までは入会金・年会費とも無料～

どんな組織ですか？

食の安全性チェック＝検査、食の情報・受発信＝食育などをおこなう、食にかかわるすべての人で構成するユニークなNPOです。あなたの食に対する疑問や課題を、それぞれの立場からぶつけ、みんなで考え実践していきます。当面、京のブランド産品(野菜)、米、茶の三品目を対象に、栽培履歴のチェック、流通経路の追跡調査などを検証します。

会員になると！

①年4回発行する機関紙を提供します。検査報告や食情報、京の農産物のあれこれ、府内でおこなわれる農林業フェスティバルなどイベント情報等々。②検査は専門スタッフでおこないますが、みなさんも参加してその実際の業務を体験できます。③産地や市場の視察、見学会に参加できます。

入会資格・費用は？

食の安全・安心に関心がある人すべてが入会者の条件です。入会には入会金5,000円(法人は10,000円)、年会費1,000円が必要ですが、2005年3月までの入会者はいずれも無料なので、ぜひこの機会にご入会ください！

役員は？

- 理事長 大村律子(JA京都府女性協顧問)
副理事長 嘉田良平(株式会社UFJ総合研究所顧問)
理事 あざみ祥子(コンシューマーズ京都 事務局長) 内田 隆(京都青果合同(株) 取締役社長)
坂本 茂(京都府生活協同組合連合会事務局長) 中川卓郎(元京都府農業総合研究所 野菜部長)
福井正憲(株福寿園 代表取締役社長) 吉岡浩人(株モリタ屋代表取締役社長)
米田泰子(京都ノートルダム女子大学 教授)
監事 小川 洸(京都料理専修学校 副校長) 佐竹由紀子(株美濃吉本店 竹茂楼女将)

お申込は電話・FAXなどで受け付けています

「京の農産物あんしんネットワーク」京都市中京区烏丸御池上ル東側二条殿町541 泰宏ビル4F アグリ・ロネチカ研究所内
TEL: 075-253-0005 FAX: 075-253-0058 E-mail: ars@zpost.plala.or.jp

< 入会申込書 >

お名前	_____	年齢	____	歳
ご住所	〒 _____	_____		
TEL	_____	_____	E-mail _____	